



ロボット手術センター

DaVinci report Vol.2

ロボット支援手術の有用性

- 正確で繊細な手術が可能
- 痛みが軽い
- 傷が小さい
- 出血が少ない
- 機能温存が可能

DaVinci Reportは当院のロボット支援手術の現状と、取り組みについて詳しくご報告します。

ロボット手術センター
のページ



腎細胞がんに対するロボット支援手術を開始しました

当院で新しく開始したロボット支援手術について ご紹介します

現在、泌尿器科領域の様々な手術で、従来の開腹手術より腹腔鏡を用いた低侵襲手術の割合が高くなっています。腹腔鏡による手術は、早期の術後の回復、入院期間の短縮、術後疼痛の軽減などの利点を有していますが、さらに近年普及が進んでいるロボット支援手術は、様々な領域で今までの腹腔鏡手術の利点をさらに向上できる手術手技を可能としています。

Robotic Surgery



2016年度の診療報酬改定において、**ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術**が保険適用となりました。この、腎腫瘍に対する手術支援ロボットを用いた**ロボット支援腎部分切除術**は、3D画像による詳細な視野が得られるとともに、ロボット特有の自由度の高い鉗子により腹腔鏡下腎部分切除術と比較しより安全な手術が可能になると考えられています。

当院のロボット手術センターでは、2024年1月より泌尿器科で前立腺がんに対するロボット支援手術を導入し、消化器外科では2月より大腸がん・胃がんに対してロボット支援手術を導入し、現在まで合計150件のロボット支援手術を行なってきました。今回、2025年7月より腎腫瘍に対してロボット支援手術を開始することで、より多くの地域の患者さんに低侵襲で安全なロボット支援手術をお届けすることができ体制を構築できました。今後とも安全で低侵襲な外科的治療の提供を目指し、スタッフ一同研鑽に努めてまいります。

南大阪病院ロボット手術センター

https://minamiosaka.or.jp/dep-div/robotic_center/

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18

TEL: 06-6685-0221 FAX: 06-6685-5208

